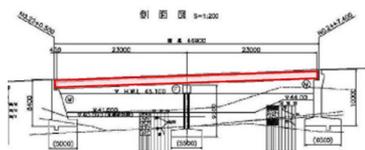
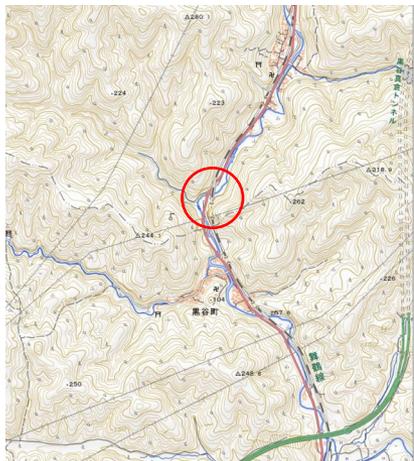


活用事例

- 橋長 : 46.9m 幅員 : 12.5m
- 橋梁形式 : 2径間連続非合成鋼桁橋
- 対象部位・部材 : 床版
- 性能カタログ(又はNETIS)番号 : BR010006-V0222
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)



位置図及び側面図



□点検手法:シン・クモノス

○点検支援技術の効果

- ・橋梁点検車(BT-400)による点検と比較し、安全費を削減できる。
- ・高所作業がなくなり、点検員の安全性が向上する。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・狭小な桁間においても、近接写真が撮影可能である。
- ・ひびわれ幅0.007mmを検出可能である。
- ・第三者被害予防措置対象外であり、打音検査の必要がない。

○使用時の留意事項

- ・ひびわれにチョークが重なっている場合は検出が困難。
- ・コンクリート表面が著しく汚れている場合は検出が困難。
- ・対象面が球体の場合は抽出不可能。
- ・現場の明るさが281ルーメン以下で撮影した画像の場合は抽出が困難。
- ・第三者影響範囲では、打音点検(たたき落とし)の併用が必要。



写真-1 光波測量機「KUMONOS」



写真-2 光波測量状況



写真-3 高解像度カメラ

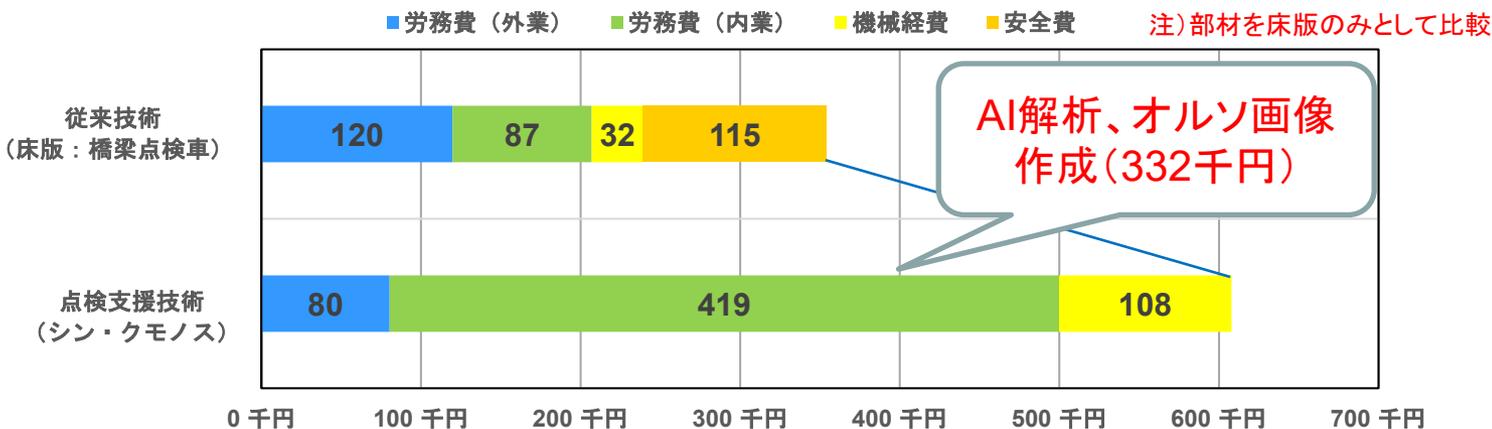


写真-4 高精度点検システムで作成した損傷図

コスト比較

比較条件: 床版のみを点検した場合のコスト比較

評価: 従来技術(橋梁点検車)と比べ、外業及び安全費のコストダウンに寄与するが内業(AI解析、オルソ画像の生成)の損傷図作成がコスト高となる。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	近接目視	シン・クモノスによる写真撮影
内業	点検調書作成	点検調書作成 (オルソ画像あり)
比較対象	橋梁点検車	画像診断(床版のみ)
合計金額	354千円	608千円
工程	1日	1日

○諸条件

- 点検面積: 586.3m² (床版のみ)
- 桁下高: 約5.0~6.1m (河床~桁下)
- 天候: 晴れ
- 対象部位: 部材: 床版
- 進入路: 有り
- 点検時間: 9:00~17:00
- たたき落とし作業: 無し
- 積算: 業者見積もり (R4.7)
- 前回の健全度: I 判定